

施策	7104 市民参画の充実							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	パブリックコメントの実施、地域市政懇談会の開催等を図る。							
成果指標	まちづくり懇談会出席者数...5年間（平成25年度～平成29年度）で1,150人（現状値 1,050人）							
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [ 人 ]	予定	920.00	1,100.00	1,110.00	1,130.00	1,150.00	
		実績	957.00	1,131.00	1,356.00			
	成果指標2 [ ]	予定						
		実績						
	成果指標3 [ ]	単位コスト						
		予定						
	成果指標4 [ ]	実績						
		単位コスト						
	トータルコスト (千円)	予定	552,053	679,454	586,267			
実績		523,145	616,611	528,628				
内 部 評 価	貢献度	まちづくり懇談会ふれあいトークの出席者を増やし、市民の市政への参画を促すことは、上位施策の「住民参加の満足度」の向上に大きく貢献している。						
	達成状況	本年度は目標値に達している。						
	課題	懇談会開催の周知を広報紙やHPのほかフェイスブックやツイッターで数多く行い、出席者の増加を図るほか開催場所や時間等も検討する事が必要であると思料する。						
	取組方針	懇談会実施後に行うアンケート調査を基に、開催日数や時間、場所を検討し、懇談会の出席者の増加を図る。						
外 部 評 価	<p>成果指標を見ると、まちづくり懇談会への出席者数は、昨年度目標を大きく上回っているようだが、昨年は災害があったため災害対応への関心から、大きく出席者数を伸ばしているのではないと思われる。その辺りの分析も行うべきである。また、この数字が一過性のものにならないよう今後も周知等に励むべきである。</p> <p>出席して思うところ、一部の人が発言している傾向が見られるなど、せっかくのフリートークが生かされていないと感じる面もある。懇談会の内容の向上を図るとともに、参加した市民が満足できるような懇談会とすべきである。</p> <p>また、開催日時については平日の夜に設定されているが、休日についても試験的に実施するなど工夫を検討すべきである。</p>							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	670301	市政功労者表彰等事業費				2,685	100	
	670701	選挙啓発費				3,058	100	
	673201	広聴事業費				5,277	100	
	673204	広聴事業費（都賀）				2,255	100	
	673206	広聴事業費（岩舟）				3,501	100	
	719001	市議会議員共済会負担金				107,138	100	
	673202	広聴事業費（大平）				3,609	98	
	670601	選挙管理委員会運営費				7,296	75	
	673205	広聴事業費（西方）				2,250	51	
673203	広聴事業費（藤岡）				2,257	43		



平成27年度

単位 施策評価表 補表

施策	7104 市民参画の充実		
区分	妥当性	妥当	市民の市政への参画手段として妥当である。
	コスト削減の余地	無	広く市政への参画を呼び掛けていくことが必要であり、コストの削減余地はないと考える。
	受益者負担	適正	市政への参画について、受益者負担を求めるものではない。
	上位貢献度	有効	まちづくり懇談会は市民と行政の協働について有効である。
	類似事業の有無	無	市政に対する意見等を執行部と直接やり取りする事業は他ではやっていない。
	成果向上の余地	有	まちづくり懇談会の出席者は年代別のかたよりがあるので、各年代別の開催を検討する必要がある。
内部評価	貢献度	住民参加の満足度の向上にあたり、まちづくり懇談会ふれあいトークの出席者が増えることで、市民の市政への参画を促すことができるため、その貢献度は大きい	
	達成状況	まちづくり懇談会の出席者については、年々増加しており目標は達成している。	
	課題	まちづくり懇談会の出席者については、年代別等に偏りがあり若者や女性など広い世代にわたって参加できる仕組みを構築する必要がある。	
	取組方針	より多くの市民の方がふれあいトークに参加してもらうために、実施後にアンケート調査を行い、開催日数や時間、場所について再検討する。広い世代が参加できる仕組みを構築する。	

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020102	予算事業コード	673202	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	広聴事業費（大平）										主	7104	市民と行政の協働と情報共有化の推進		市民参画の充実	
担当部課 係・担当チーム名	総合政策部 大平地域課 地域づくり推進係						担当者	戸田 良訓			従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等				事業期間	H22 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	243		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・まちづくり懇談会ふれあいトークの開催 ・市政に対する要望等の処理 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) さまざまな広聴事業を行うことにより、市民の声を市政運営に反映する。								
	単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容		その成果		成果目標	まちづくり懇談会出席者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,150人(現状値 1,050人)							
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	平成26年度 事業の内容 ・まちづくり懇談会ふれあいトークの開催 ・市政に対する要望等の処理 その成果 さまざまな広聴事業を行うことにより、市民の声を市政運営に反映することができた。		平成27年度 事業の内容 ・まちづくり懇談会ふれあいトークの開催 ・市政に対する要望等の処理 その成果 さまざまな広聴事業を行うことにより、市民の声を市政運営に反映することができた。									
	県支出金		0	0												
	地方債		0	0												
	その他特財		0	0												
	一般財源		30	9												
	事業費 a		30	9												
	人件費 b		3,600	3,600												
減価償却費 c		0	0													
総事業費 a+b+c		3,630	3,609	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価									
結果指標 1		209.00	197.00	懇談会参加者数	人 H27目標値 200人	人	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地				
結果指標 2							妥当	無	適正	有効	無	無				
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・まちづくり懇談会ふれあいトークを開催し、市政の報告及び市民からの要望等を伺った。 ・メールや投書箱を活用し、広く市民の声を聴く。															
事後評価備考																

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020102	予算事業コード	673203	事業区分	02	経常的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策			単位施策			
事業名	広聴事業費（藤岡）										主	7104	市民と行政の協働と情報共有化の推進			市民参画の充実		
担当部課 係・担当チーム名	総合政策部 藤岡地域課 地域づくり推進係					担当者	五十畑文寛					従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等									事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	330 千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 地域住民の声を広く聴く機会を設け、市政に反映させる。 ・まちづくり懇談会ふれあいトークの実施。 ・広聴案件の処理。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 市民の意見・提案等を市政に反映させる。						
	成果目標	まちづくり懇談会出席者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,150人(現状値 1,050人)																
単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込																
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0															
	県支出金	0	0															
	地方債	0	0															
	その他特財	0	0															
	一般財源	46	7															
	事業費 a	46	7															
	人件費 b	2,250	2,250															
減価償却費 c	0	0																
総事業費 a+b+c	2,296	2,257																
結果指標 1	133.00	104.00	指標名	算出方法			単位											
結果指標 2			市政懇談会参加者数	各地区市政懇談会参加者数の計 H27目標値：240人			人											
事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地												
	妥当	無	適正	有効	無	有												
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) まちづくり懇談会ふれあいトークの周知を強化し、参加者の増を図る。																	
事後評価備考																		

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020102	予算事業コード	673204	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	広聴事業費（都賀）										主	7104	市民と行政の協働と情報共有化の推進		市民参画の充実	
担当部課 係・担当チーム名	総合政策部 都賀地域課 地域づくり推進係						担当者	佐藤 律子			従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等				事業期間	H18 ~ H32 年度		全体事業費 (人件費除)	4,368		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・まちづくり懇談会ふれあいトーク ・市政に対する要望、意見等の処理 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・市民の意見、提案等を広く募り、市政に反映させる。								
	成果目標	まちづくり懇談会出席者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,150人(現状値 1,050人)														

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容				事業の事後評価						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成26年度			平成27年度						
	県支出金	0	0	【事業の内容】			【事業の内容】						
	地方債	0	0	市政に関する意見や要望、提案等を募り、市政に反映させる。			市政に関する意見や要望、提案等を募り、市政に反映させる。						
	その他特財	0	0	【成果】			【成果】						
	一般財源	22	5	・まちづくり懇談会ふれあいトークを、合戦場小学校体育館・都賀公民館講堂・赤津小学校体育館の3カ所で開催した。			・まちづくり懇談会ふれあいトークを、家中小学校体育館・赤津小学校体育館の2カ所で開催した。						
	事業費 a	22	5	・支所窓口に設置した投書箱やメールで寄せられた広聴案件の処理を行った。			・支所窓口に設置した投書箱やメールで寄せられた広聴案件の処理を行った。						
	人件費 b	2,250	2,250	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無
減価償却費 c	0	0	懇談会実施数	年間懇談会実施数 H27目標値 2回		回							
総事業費 a+b+c	2,272	2,255	懇談会参加人数	各地区懇談会参加者数の計 H27目標値 81人		人	妥当						

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 自治会への呼びかけを強化することで、まちづくり懇談会への参加者増に努める。													
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考														
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020102	予算事業コード	673205	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	広聴事業費（西方）										主	7104	市民と行政の協働と情報共有の推進		市民参画の充実	
担当部課 係・担当チーム名	総合政策部 西方地域課 地域づくり推進係						担当者	狐塚 浩		従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等								事業期間	H23 ~ H32 年度		全体事業費 (人件費除)	124	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・まちづくり懇談会ふれあいトークの実施。 ・広聴案件の処理。 【主要事業】								達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 市民の意見・提案等を市政に反映させる。						
									成果目標	まちづくり懇談会出席者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,150人(現状値 1,050人)						

単位：千円、人		平成26年度決算額	平成27年度決算見込											
事業費・指標の推移	国庫支出金		0		0	平成26年度		平成27年度						
	県支出金		0		0	【事業の内容】		【事業の内容】						
	地方債		0		0	・市政に関する地域の声を聴くため、まちづくり懇談会ふれあいトークを実施する。		・市政に関する地域の声を聴くため、まちづくり懇談会ふれあいトークを実施する。						
	その他特財		0		0	西方地域における開催回数 3回		西方地域における開催回数 2回						
	一般財源		22		0	【成果】		【成果】						
	事業費 a		22		0	・市民の声を市政運営に反映することが出来た。		・市民の声を市政運営に反映することが出来た。						
	人件費 b		2,250		2,250									
減価償却費 c		0		0										
総事業費 a+b+c		2,272		2,250	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1		63.00		77.00	懇談会参加者数	各地区懇談会参加者数の計 H27目標値 150人	人	妥当	無	適正	有効	無	有	
結果指標 2														

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)														
	・事業の実施会場を3箇所から2箇所に集約し事業の効率化を図るとともに地域内全戸に開催案内のチラシを配布し周知をしたところ、一般参加者の参加延べ人数に増加がみられた。(H26年度：63人 H27年度：77人) ・今後も事業の周知方法や自治会との連携を強化し、参加者の増に努めるとともに、開催会場、開催日時等も併せて検討し、当該地域において、最も効率的、且つ効果的に実施できるよう努める。														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020102	予算事業コード	673206	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	広聴事業費(岩舟)										主	7104	市民と行政の協働と情報共有化の推進		市民参画の充実	
担当部課 係・担当チーム名	総合政策部 岩舟地域課 地域づくり推進係					担当者	小荷田 早苗			従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等				事業期間	H26 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	148		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 地域住民の声を広く聞く機会を設け、市政に反映する。 ・広聴案件への対応。 ・まちづくり懇談会ふれあいトークの実施。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 多くの市民の提案や意見等を市政に反映する。								
	単位：千円、人						成果 施策目標	まちづくり懇談会出席者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,150人(現状値 1,050人)								

事業費・指標の推移	平成26年度決算額		平成27年度決算見込		平成26年度			平成27年度			事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地			
	国庫支出金	0	0	0	0	【内容】	【内容】	【成果】	【成果】											
事業費	県支出金	0	0	0	0	<b>【内容】</b> ・メール等による意見聴取 ・まちづくり懇談会の開催 <b>【成果】</b> ・投書箱の設置 ・メール等による広聴案件への対応 ・まちづくり懇談会の開催により、地域住民の意見を聴取する機会を設けられた。	<b>【内容】</b> ・メール等による広聴案件への対応。 ・まちづくり懇談会ふれあいトークの開催。 <b>【成果】</b> ・メール等による広聴案件への対応や、まちづくり懇談会の開催により、地域住民の意見を聴取する機会を設けることができた。	地方債	0	0	事業費	a	26	1	妥当	無	適正	有効	無	無
	その他特財	0	0	人件費	b			5,000	3,500											
	一般財源	26	1	減価償却費	c			0	0											
	事業費 a	26	1	総事業費	a+b+c			5,026	3,501	指標名	算出方法		単位							
	結果指標 1	135.00	230.00	結果指標 1				市政懇談会参加者数		各地区市政懇談会参加者数の計 H27目標値 182人		人								
	結果指標 2			結果指標 2																

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・開催通知を適切に行うことにより、まちづくり懇談会への参加者数の増加を図り、前年比約25%増加を果たすことができたが、より参加者が増えるよう地域への周知へ力を入れる必要がある。 ・岩舟総合支所玄関に設置してある投書箱への投函が少なかったため、投函しやすい仕組みづくりが課題である。																

事後評価備考																	
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--